

未来医療国際拠点整備の考え方（案）

（仮称）未来医療推進機構設立準備組織

1. 未来医療国際拠点のイメージ

- ・ 未来医療国際拠点基本計画（案）に掲げる拠点のコンセプト・ビジョンである、再生医療をベースに未来医療の産業化と病院等における未来医療の提供による国際貢献の推進を実現する機能を導入します。
- ・ 中之島4丁目は大阪都心に位置し、京阪中之島線や将来整備予定のなにわ筋線による交通至便な立地を生かし日常的に人・モノ・情報が集まり・交じり合うことで多様な価値を生み出す国際的な業務・文化・交流・学術の中核拠点の形成をめざします。

2. 施設に備える機能

【機構の役割】

- ・ 医療機関、大学・研究機関、企業、ベンチャー、支援機関等の人々が多様な交流を通じて新たな価値を発見できるオープンイノベーションの場を中心に研究支援、起業家支援、医療の実践する場が有機的に連携するようオーガナイズします。
- ・ 未来医療国際拠点では医療機関と大学・研究機関、企業、ベンチャー、支援機関等が一つの屋根の下に集積することで再生医療のワンストップ実用化を促進します。

<研究開発支援機能>

- ・ 日本再生医療学会と協力連携する研究支援組織（ナショナルコンソーシアム事業継承組織）が先端医療・臨床研究・臨床治験等の実践を通じて得られる全国のデータを一元的に収集・解析したクオリティデータを活用した研究開発支援を実施します。
- ・ 研究支援組織とクオリティデータを活用する開発型CRO等が連携し、企業等への治験・市販後調査にかかるコンサルティングやコーディネートを行います。

<インキュベーション機能>

- ・ 再生医療の実用化及び産業化には医療産業に留まらない幅広い産業分野との接点創出が不可欠であるため、オープンな交流を促進するアクセラレートプログラムを実施し新事業創出の機会提供を行います。
- ・ 未来医療推進機構は産学連携・起業家育成を支援します。産学連携組織やアクセラレータ等と連携しシーズとニーズのマッチングを行い、新たな価値の創出と実用化のスピードアップを図ります。

<オープンイノベーション機能>

- ・ 未来医療に関わるシーズ及びニーズの集積を目的に、高度人材が集まるコミュニティ形成を進め継続的且つ効果的な交流を促進します。
- ・ 大学や専門学校と連携し先端医療・臨床研究・臨床治験の実践の場を活用した医療支援人材の育成を行います。

未来医療の実用化・産業化等の拠点に備える機能の連携イメージ

○ : 入居者

○ : 運営者・支援者

■ : 構成施設

(仮称)未来医療推進機構

オープンイノベーションの場を中心に
研究開発支援、起業家支援、医療実践の
場が有機的に連携するようオーガナイズ



外部連携者



外部連携者・イベント



全国の医療データ

未来医療の実用化・産業化等の拠点に備える機能

基本計画案	
機能区分	規模(想定)
クリニック	3,000㎡程度
高度健診・治療センター	3,000㎡程度
病院	12,000㎡程度
CPC・細胞バンク	1,000㎡程度
拠点全体のオーガナイズ機能、企業・研究活動支援など	2,000㎡程度
インキュベーションラボ	2,000㎡程度
産学連携ラボ	2,000㎡程度
関連企業・関連教育機関	20,000㎡程度
その他の施設	5,000㎡程度

計画見直し案					
機能区分	各機能	規模(想定)	貸床面積(※)	仕様等	賃料の考え方
医療提供	クリニック 高度健診センター	6,000㎡程度	4,200㎡	スケルトン	一般的な賃料負担力があると想定
	病院(臨床治験関連機能含む)	12,000㎡程度	12,000㎡	スケルトン ※救急病院	一般的な賃料負担力があると想定
研究開発支援	CPC・細胞バンク	1,000㎡程度	1,000㎡	オフィス ※耐荷重1t/㎡以上 ※要換気設備	一般的な賃料負担力があると想定
拠点全体オーガナイズ	機構事務室・関連スペース	2,000㎡程度	1,400㎡ (直営)	オフィス	賃料負担力が低いと想定
起業家・ベンチャー育成	インキュベートスペース	4,000㎡程度	800㎡	ドライ	賃料負担力が低いと想定
	産学連携スペース		2,000㎡	ドライ(一部に、ガス・水道を設置)	一般的な賃料負担力があると想定
テナント(関連企業・関連教育機関等)	一般オフィス	20,000㎡程度	14,000㎡	オフィス	一般的な賃料負担力があると想定
その他の施設	利便施設、交流促進施設等	-	-	-	-

※病院・細胞バンク以外の施設について、規模(想定)の70%を貸床と設定